

第9章 異常水質事故発生状況

I 概要

異常水質事故とは、公共用水域に汚水、廃液、油等が排出又は廃棄され、水質の著しい汚濁やそれらによる魚介類等への被害が発生することをいう。

異常水質事故の発生場所や原因等により関連部署は多岐にわたっており、本市では、平成30(2018)年4月に策定した「川崎市水質事故対応要領」*に基づき対応している。

* 平成6(1994)年度～平成29(2017)年度までは、「川崎市異常水質事故対策要領」

II 対象事故

環境局環境保全課で把握した魚死亡、油浮遊等の異常水質事故

III 発生状況

1 異常水質事故発生件数

(1) 種類別事故発生件

令和3(2021)年度に発生した異常水質事故は45件であった。前年度の45件と同数であった。異常水質事故の種類別では、油浮遊が14件と最も多く、着色水が7件、pH異常が2件、濁水が3件、地下浸透が5件、魚死亡が2件、その他の水質異常が12件であった。

(2) 水系別異常水質事故発生件数(表IX-1)

水系別では、東京湾で15件、多摩川水系で24件、鶴見川水系で6件の異常水質事故が発生した。

東京湾で発生した異常水質事故は、油浮遊が5件、pH異常が2件、地下浸透が4件、その他の水質異常が4件であった。

多摩川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡が2件、油浮遊が7件、着色水が8件、濁水が1件、地下浸透が1件、その他の水質異常が5件であった。河川別では、多摩川本川で6件(魚死亡2件、油浮遊1件、濁水1件、地下浸透1件)、平瀬川で7件(油浮遊4件、着色水3件)、その他(その他の河川や水路等で発生した事故)で11件(油浮遊2件、着色水5件、その他の水質異常4件)であった。

鶴見川水系で発生した異常水質事故は、油浮遊が2件、着色水が1件、濁水が1件、その他の水質異常が2件であった。河川別では、矢上川で4件(油浮遊2件、濁水1件、その他の水質異常1件)、真福寺川で1件(その他の水質異常1件)、その他で1件(着色水1件)であった。

表IX-1 水系別異常水質事故発生件数

水系 \ 種類		魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	地下浸透	その他の水質異常	合計
東京湾	川崎港運河内		4			2	4	4	14
	川崎港運河外		1						1
	小計		5			2	4	4	15
多摩川	多摩川本川	2	1		1		1	1	6
	三沢川								0
	旧三沢川		1						1
	平瀬川		4	3					7
	二ヶ領本川・用水							1	1
	五反田川			3					3
	登戸雨水幹線								0
	山下川		1						1
	六ヶ村堀雨水幹線			1					1
	宮内雨水幹線							1	1
	その他			1				2	3
小計	2	7	8	1		1	5	24	
鶴見川	鶴見川本川								
	矢上川		2		1			1	4
	有馬川								
	渋川								
	麻生川								0
	早野川								0
	真福寺川							1	1
	片平川								0
	江川								
	その他			1					1
小計		2	1	1			2	6	
合計		2	14	9	2	2	5	11	45

(3) 原因別異常水質事故発生件数(表IX-2)

原因者が判明した異常水質事故は30件で、工場・事業場によるものが21件、建設工事によるものが5件、その他の原因によるものが4件であった。

工場・事業場に起因する21件の異常水質事故(油浮遊3件、着色水3件、濁水1件、pH異常2件、地下浸透3件、その他の水質異常9件)の原因は、施設の破損が9件、作業ミスが3件、施設の管理不備が7件、火災消火が1件、原因不明が1件であった。建設工事に起因する5件の異常水質事故(油浮遊3件、着色水1件、その他の水質異常1件)の原因は、下水道工事が1件、河川改修・管理が1件、その他の工事が3件であった。また、原因不明の異常水質事故は15件で、魚死亡が1件、油浮遊が6件、着色水が5件、濁水1件、地下浸透が1件、その他の水質異常1件であった。

表IX-2 原因別異常水質事故発生件数

原因		種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	地下浸透	その他の水質異常	合計
工場・事業場	施設の破損			2			1	3	3	9
	作業ミス				1				2	3
	施設の管理不備			1	1	1	1		3	7
	火災消火				1					1
	原因不明								1	1
	小計			3	3	1	2	3	9	21
建設工事	下水道工事								1	1
	河川改修・管理			1						1
	水道・ガス工事									
	建築工事									
	道路工事									
	その他の工事			2				1		3
小計			3				1	1	5	
船舶	施設の破損									
	作業ミス									
	施設の管理不備									
	原因不明									
	小計									
その他			1	2	1					4
原因不明			1	6	5	1		1	1	15
合計			2	14	9	2	2	5	11	45

2 異常水質事故発生状況の経年推移(平成6(1994)年度～令和3(2021)年度)

(1) 異常水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和3(2021)年度までの種類別異常水質事故発生件数を表IX-3に示す。

過去27年間の平均発生件数は39件/年であった。

表IX-3 種類別異常水質事故発生件数経年推移

年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
魚死亡	3	3	4	12	1	0	3	3	1	1	0	0	2	2	0	4	5	4	4	3	3	0	1	3	2	0	0	2	66
油浮遊	13	11	13	24	15	11	18	11	14	20	11	21	20	19	21	14	10	14	19	25	17	23	17	14	16	12	19	14	456
着色水	3	5	6	8	3	4	9	1	5	6	7	5	27	12	18	38	26	8	21	16	14	18	15	12	14	7	11	9	328
濁水	1	2	0	0	3	4	6	5	4	4	1	5	4	7	8	14	4	1	2	2	5	8	4	3	3	5	2	2	109
pH異常	3	2	5	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	2	1	7	4	2	40
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	2	3	5	19
その他	1	1	2	2	1	1	1	0	1	4	1	0	0	1	2	3	1	7	2	3	4	2	5	3	5	2	6	11	72
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	1090

(2) 水系別異常水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和3(2021)年度までの水系別異常水質事故発生件数を表IX-4に示す。

水系別発生件数は、海域では京浜運河(53件)、多摩川水系では平瀬川(242件)、鶴見川水系では矢上川(145件)が最も多かった。

表IX-4 水系別異常水質事故発生件数経年推移

水系	年度																					合計									
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
東京湾	川崎港運河外		1		4	1	1				3	1	2	3	4	3	2	1			2	1	3	1	1	2	1	1	38		
	未広運河						1			1		2				1					1	1					2	1	1	11	
	田辺運河	2	1	2	2				2	1	1					2	2	1		1	5	1	2	1			1	1	28		
	大師運河			1			1		1	1	1	3	1	4						1	1		2	2	2	2	6	3	1	33	
	京浜運河	2	2	2	3		4	2	1	4			3	1		2		1	1	1	3	4	3	4	1	4	1	2	2	53	
	千鳥運河					1		2			2		2				1			1	1	2	1	5	2		1	1	3	25	
	塩浜運河	1	3	1							1		1	1	1	1			4				1	1	2	1				18	
	池上運河	1		1						1	2		2										1							9	
	夜光運河		1																							3	1			5	
	水江運河			1												1								1				1	2	6	
	浅野運河				1				1	2	1			1			1				1			1			1			10	
	桜掘運河					1				2					2				1									1		7	
	南渡田運河						1							1	2											3	2	1	2	12	
	白石運河											1	2					1					1					1	2	8	
	川崎航路							1							1									1				1	2	4	
	境運河												1	1													1	2	1	6	
	多摩運河																			1	1							1		3	
	小計	6	8	8	10	3	8	5	5	12	10	8	13	12	12	11	6	2	8	9	11	11	11	16	11	16	18	15	11	276	
	多摩川	多摩川本川				3	2		1	5	2			1	5	5	5	7	2	1	4	2	2			2	5	2	5	61	
三沢川			1	1	1	3		2		1	1				2	2	4	1	1	1	2	2		1	2			2	31		
旧三沢川			1								1		1								1	2						1	1	8	
平瀬川		5	4	9	7	5	5	1	4	2	6	5	6	23	8	16	34	14	10	11	11	11	15	5	4	6	3	5	7	242	
三ヶ瀬本川・用水		6	6	2	8	3	2	5	5	1	2	4	4	3	3	3	1	3	3	2	2	3	5	5	2	2		2	1	88	
五反田川		1			2	1	1	2	2				2	2	1		1	1	1	4	2	2	4	7	4	2		1	3	46	
登戸雨水幹線		1			1	1						1																		4	
山下川							2									1	1	1		1							1		1	8	
六ヶ村畑雨水幹線					1		2										1				1									6	
宮内雨水幹線				1			1			1							1													1	6
その他					2		2	1						1												6	4	1	3	3	23
小計	13	12	13	25	15	8	17	14	9	13	10	13	30	19	27	48	27	17	21	22	22	26	18	18	17	9	16	23	522		
鶴見川	鶴見川本川				1	1	1	1				1		1		3		1											10		
	矢上川	2	4	4	6	4	1	5	2		10	2	2	8	6	6	10	11	7	5	9	8	11	5	3	1	3	6	4	145	
	有馬川		1	3			4		2			1		3		1	3			4	2		2		1	2	1			30	
	渋川	1		1	1			1		1								1								1				7	
	麻生川			1	3		1	1		1	1				2	3	2	4	2	3	2	2	1	1				2		32	
	早野川			1			1					1		1		1										1				5	
	真福寺川	1			1	1					1		1			1	1				1	2						1	1	11	
	片平川	1		1				1				1		1				1			1	2		1	2	2	1		1	15	
	江川					1		1																1						3	
その他						1													1	4		1				4	2	2	1	16	
小計	5	4	9	15	7	4	15	2	4	12	3	6	11	10	11	19	17	11	18	17	11	15	9	8	8	6	11	6	274		
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2	3	5	18	
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	1090		

(3) 原因別水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和2(2021)年度までの原因別異常水質事故発生件数を表IX-5に示す。

原因不明の異常水質事故は過去27年間で平均23件/年であり、全体の57%となっている。

表IX-5 原因別異常水質事故発生件数経年推移

原因	年度																					合計								
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
工場・事業場	施設の破損	1	6	2		1	2	1	2	2	1	1	2	1	1					1	2	3	2	1	9	11	4	9	65	
	作業ミス	6		3	5	2	5	7	1	2	6	4	6	5		2	2	4	1	3	1	3	4	2	5	7	6	3	95	
	施設の管理不備		4	3	5	1		5	3	4	3	1	2	3	1	1	3		3	3	9	7	2	4	11	7	3	7	102	
	火災消火			1	1										1							2					1	1	7	
	原因不明																		1			1			1			4	1	8
	小計	7	10	9	11	4	7	13	6	8	10	6	10	8	3	2	5	2	8	4	13	13	8	10	15	21	22	21	21	277
建設工事	下水道工事	1				1		1	1	1					2	1	2				1							1	12	
	河川改修・管理		1	1		3				1	1		1							2	1				1			1	13	
	水道・ガス工事									1						1	2				1							1	6	
	建築工事			1		1		2			1		3	1	2	3	5		2	2	3	2	1	1		2	1		33	
	道路工事				1					1	1			1				2			1	2							9	
	その他の工事													2	2					3	1							1	3	12
小計	1	1	2	1	5	0	3	2	3	2	1	4	4	6	5	11	0	5	5	6	5	1	1	1	2	1	2	5	85	
船舶	施設の破損		1	1	3	1	2			1	3	2	1	2	1						1		1	2			1		23	
	作業ミス		1			1	1			2			1			1		1	2	1		1	1						13	
	施設の管理不備												1				1						1				2		5	
	原因不明													1									1					2	4	
小計	0	2	1	3	2	3	0	0	3	3	2	2	4	1	0	1	1	1	1	2	2	0	3	4	0	0	3	2	0	45
その他	1	1	3	5	4	0	2	2	2	3	1	2	0	2	1	0	1	2	2	5	2	2	5	2	3	0	3	4	60	
原因不明	15	10	15	30	10	10	20	11	9	17	11	14	37	29	41	56	42	20	35	24	24	38	23	20	21	9	17	15	623	
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	1090	

3 異常水質事故発生状況一覧

令和3(2021)年度に発生した異常水質事故の発生状況の一覧を表IX-6に示す。

表IX-6 異常水質事故発生状況一覧

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
4/1 ・ 4/16	4/16	多摩川	水路	高津区坂戸			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からフェノール類を基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
4/20 ・ 4/20	4/20	多摩川	多摩川本川	高津区諏訪			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 消防局高津消防署 高津区役所道路公園センター 上下水道局中部下水道事務所 ② 高津区役所道路公園センター 上下水道局中部下水道事務所 ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業所で火災が発生し、消火活動に伴い火災現場から六価クロム等を含む黄色の汚水が流出した。中部下水道事務所が多摩川にオイルフェンス及びオイルマットを、高津区役所道路公園センターが火災現場に土のうを設置した。また、環境局が側溝の洗浄を行った。事業者にさらなる汚水の流出防止対策と経過をまとめた報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
4/21 ・ 4/21	4/21	多摩川	多摩川本川	高津区下野毛			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 上下水道局中部下水道事務所 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からほう素やニッケル等を含む緑色の廃液を移送中にこぼして、一部が道路側溝へ流出してしまったと連絡があった。事業者に対し、廃液をできる限り回収し、再発防止策を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/1 ・ 5/1	5/1	多摩川	平瀬川	高津区宇奈根			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 上下水道局下水道水質課 上下水道局中部下水道事務所 ② なし ③ 環境局環境対策推進 上下水道局下水道水質課	判明 不明	平瀬川で白濁水が流れていると通報があり、現場調査を行った結果、発生源である事業所が判明した。原因は、下水道に接続していない流し台で塗料が付着した刷毛を洗浄してしまったことであり、事業者には下水道の誤接続を改めるとともに再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
5/14 ・ 5/14	5/14	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から亜鉛を基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。原因は、排水処理設備に凝集沈殿の薬剤を投入し忘れた人為的なミスであり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/27 ・ 5/27	5/27	鶴見川	矢上川	宮前区土橋			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 宮前区役所道路公園センター 消防局宮前消防署 神奈川県宮前警察署 ② なし ③ なし	判明 不明	矢上川で油が浮いていると通報があり現場調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
6/1 ・ 6/2	6/2	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から水酸化ナトリウムを漏洩させてしまったと連絡があった。排水系統をせき止めたため公共用水域への流出はなかったが、一部土質の箇所へ地下浸透した。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
6/15 ・ 6/15	6/15	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から軽油が配管から漏洩してしまったと連絡があった。公共用水域への流出はなかったが、土質の箇所へ地下浸透した。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
6/21 ・ 6/22	6/22	東京湾	観音川	川崎区塩浜			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からりんを基準超過した状態で排水してしまった可能性があるとの連絡があった。原因は大雨により処理施設における滞留時間が短くなってしまったことだと考えられる。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
6/23 ・ 6/23	6/23	多摩川	多摩川本 川	幸区戸手		○		① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	多摩川で油が浮いていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
7/1 ・ 7/1	7/1	多摩川	五反田川	多摩区生田			○	① 環境局環境保全課 ② なし ③ なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	五反田川で橙色の水が流れていると通報があり現場調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
7/8 ・ 7/8	7/8	多摩川	平瀬川	宮前区平		○		① 環境局環境保全課 消防局宮前消防署 宮前区役所道路公園センター ② 消防局宮前消防署 ③ なし	<input type="checkbox"/> 判明 不明	油のおいがするという通報があり、現場調査を行った結果、平瀬川にも油が流出していた。原因は、付近の住民が灯油をこぼしたことであった。宮前消防署がオイルキャッチャーを設置して油を回収した。	
8/2 ・ 8/2	8/2	東京湾	塩浜運河	川崎区 千鳥町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	<input type="checkbox"/> 判明 不明	事業者からpHを基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。原因は、排水処理設備の配管の破損であり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
8/5 ・ 8/5	8/5	多摩川	多摩川本 川	多摩区 布田	○			① 環境局環境保全課 上下水道局生田浄水場 多摩区役所道路公園センター 国土交通省京浜河川事務所 ② 上下水道局生田浄水場 多摩区役所道路公園センター ③ なし	<input type="checkbox"/> 判明 不明	多摩川の上流（東京都府中市周辺）で死亡魚が確認され、下流の川崎市周辺にも流れてきた。国土交通省京浜河川事務所によると、原因は酸欠である。多摩川から取水している二ヶ領用水宿河原線に流れ込んできた死亡魚を、上下水道局生田浄水場、多摩区役所道路公園センターが回収し、王禅寺処理センターへ搬入した。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
8/11 ・ 8/11	8/12	東京湾	千鳥運河	川崎区夜光		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 港湾局川崎港管理センター なし ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から油を流出してしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
8/21 ・ 8/21	8/21	鶴見川	真福寺川	麻生区 王禅寺東			○	① 環境局環境保全課 上下水道局北部下水道事務所 上下水道局下水道水質課 ② 上下水道局北部下水道事務所 環境局環境対策推進課 ③ なし	判明 不明	道路で水が流れていると通報があり現場調査を行った結果、下水がマンホールから溢流し、雨水側溝から河川にも流出した。北部下水道事務所が道路や側溝等の清掃を行った。原因は、更新工事後にマンホール内のポンプが再稼働されていなかったことであり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
8/23 ・ 8/23	8/23	東京湾	京浜運河	川崎区 東扇島		○		① 環境局環境保全課 消防局川崎消防署 港湾局川崎港管理センター ② 消防局川崎消防署 川崎区役所道路公園センター 港湾局川崎港管理センター 国土交通省海上保安庁 ③ なし	判明 不明	路上で大型トレーラーから軽油が漏れたと通報があり、一部が雨水側溝から海上にも流出した。川崎消防署と川崎区役所道路公園センターがオイルマット等で道路の清掃を行い、港湾局川崎港管理センターと海上保安庁が海上の油を拡散させた。	
8/24 ・ 8/24	8/24	鶴見川	矢上川	高津区 久末		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 神奈川県高津警察署 高津区役所道路公園センター 上下水道局下水道水質課 ② なし ③ なし	判明 不明	矢上川で油が浮いていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
8/24 ・ 8/24	8/24	東京湾	東扇島沖	川崎区 東扇島		○		① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課 消防局川崎消防署 国土交通省海上保安庁	判明 不明	事業者からシーバースにおいて原油が流出したと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
8/25 ・ 8/26	8/26	東京湾	千鳥運河	川崎区 千鳥町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からpHを基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
9/2 ・ 9/2	9/2	東京湾	千鳥運河	川崎区 千鳥町		○		① 環境局環境保全課 港湾局川崎港管理センター 国土交通省海上保安庁 ② 港湾局川崎港管理センター 国土交通省海上保安庁 ③ 港湾局川崎港管理センター 国土交通省海上保安庁	判明 不明	千鳥運河で油が浮いていると通報があり現場調査を行った結果、護岸工事の際に海底に投棄されていた廃油のびんを傷つけてしまったことが判明した。港湾局川崎港管理センターと海上保安庁が流出した油の拡散を行い、工事業者に注意喚起した。	関係機関が指導を行った。
9/5 ・ 9/5	9/5	多摩川	水路	麻生区黒川			○	① 環境局環境保全課 麻生区役所道路公園センター 神奈川県麻生警察署 ② 麻生区役所道路公園センター 神奈川県麻生警察署 ③ 神奈川県麻生警察署	判明 不明	道路側溝にペンキの一斗缶が不法投棄されていると通報があり現場調査を行った結果、ペンキが水路と水田にも流出していた。麻生区役所道路公園センターが道路側溝の清掃を行った。警察署が原因者の捜査を行った。	関係機関が指導を行った。
9/21 ・ 9/21	9/21	鶴見川	矢上川	中原区井田			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から矢上川で濁水を流出させてしまったと連絡があった。原因は配水管が詰まり、通常は水処理センターに送水される污水が、越流堰を超えてしまったことであり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
9/30 ・ 9/30	9/30	多摩川	平瀬川	高津区 上作延		○		① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 消防局高津消防署 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から河川内で工事を行っていた重機から油を流出させてしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
10/9 ・ 10/9	10/9	多摩川	水路	多摩区 宿河原			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 上下水道局下水道水質課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から圧送管が破裂し下水汚泥を流出させてしまったと連絡があった。原因は、圧送管と空気弁の接続部のパッキンの不備であり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
10/24 ・ 10/25	10/25	東京湾	観音川	川崎区塩浜			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	敷地内で工事を行っていた事業者が次亜塩素酸ナトリウムを地下浸透させてしまったと連絡があった。原因は、仮設の設備の継手の材質が不適切であったことであり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
10/25 ・ 10/25	10/25	多摩川	多摩川本 川	中原区 上丸子天神 町			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 上下水道局下水道水質課 ② なし ③ なし	判明 不明	多摩川で濁水が滞留しているという通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
11/1 ・ 11/1	11/1	鶴見川	片平川	麻生区片平			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 麻生区役所道路公園センター ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	道路側溝で白濁水が確認され、現場調査を行った結果、事業者が塗料を扱った道具の洗浄水を排水先の認識不足から道路側溝に排水していた。事業者に対し、道路側溝に滞留した白濁水を回収し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
11/4 ・ 11/5	11/5	東京湾	多摩運河	川崎区 浮島町			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 環境局廃棄物指導課 ② なし ③ 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 環境局廃棄物指導課	判明 不明	PCBを含む廃棄物を運搬するトラックがPCBを漏洩しながら走行してしまったと通報があった。漏れたPCBはウェス等で回収し、公共用水域への流出は確認されなかった。廃棄物排出事業者及び運搬会社に対し、更なる地下浸透防止措置を講じ、原因究明と再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
11/9 ・ 11/9	11/9	東京湾	境運河	川崎区 大川町			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 港湾局川崎港管理センター 国土交通省海上保安庁 国土交通省海上保安庁 環境局環境対策推進課 ② ③	判明 不明	境運河で油膜が確認され、現場調査を行った結果、発生源である事業所が判明した。海上の油は海上保安署が船舶で攪拌した。原因は、事業所内の油水分離槽から油が大雨で溢流したことであり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
11/22 ・ 11/22	11/22	多摩川	山下川	多摩区生田			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 消防局多摩消防署 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	工事業者から機械の作動油を流出させてしまったと連絡があった。原因は油圧ホースの破損であり、事業者に対し、このような場合は洗浄水を含め全量回収することと、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
12/7 ・ 12/7	12/7	多摩川	五反田川	多摩区生田			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 多摩区役所道路公園センター ② なし ③ なし	判明 不明	五反田川で白濁水が流れていると通報があり現場調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
12/12 ・ 12/12	12/12	多摩川	五反田川	多摩区生田			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 ② なし ③ なし	判明 不明	五反田川で白濁水が流れていると通報があり現場調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
12/18 ・ 12/20	12/20	鶴見川	矢上川	幸区南加瀬			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からりんを基準超過した状態で排水してしまったと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
12/18 ・ 12/20	12/20	東京湾	観音川	川崎区塩浜			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からりんを基準超過した状態で排水してしまった可能性があるためと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
12/20 ・ 12/20	12/20	多摩川	多摩川本川	川崎区鈴木町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から構内でトラックが塩酸配管に接触し、塩酸が漏洩し地下浸透してしまったと連絡があった。原因は運転手が積荷の高さを誤認識していたことであり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
12/21 ・ 12/23	12/23	多摩川	多摩川本川	中原区上丸子天神町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からCODを基準超過した状態で排水してしまった可能性があるためと連絡があった。電気系統に問題が発生し排水処理設備の一部が停止してしまったことが原因であり、事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
1/5 ・ 1/6	1/7	多摩川	平瀬川	宮前区菅生			○	① 環境局環境保全課 ② なし ③ なし	判明 不明	平瀬川で白濁水が流れていたと通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
1/10 ・ 1/10	1/11	多摩川	旧三沢川	多摩区 菅仙谷		○		① 環境局環境保全課 多摩区役所道路公園センター ② なし ③ なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	二ヶ領本川と旧三沢川で油が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
1/24 ・ 1/24	1/24	多摩川	水路	宮前区 初山			○	① 環境局環境保全課 宮前区役所道路公園センター ② なし ③ なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	宮前区初山の水路で、4～5日前から不定期で泡が見られると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
2/3 ・ 2/3	2/3	東京湾	京浜運河	川崎区 水江町			○	① 環境局環境対策推進課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	<input type="checkbox"/> 判明 不明	事業者から次亜塩素酸ナトリウムを含む水が道路側溝まで流出したと連絡があった。後に次亜塩素酸であった訂正があり、流出分は全て回収したとのことだった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
1/31 ・ 2/3	2/17	多摩川	平瀬川	高津区 上作延			○	① 環境局環境保全課 上下水道局中部下水道事務所 ② なし ③ なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	平瀬川で着色水が流れていたと通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。引き続き、発生源を確認中。	
2/21 ・ 2/21	2/21	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生		○		① 環境局環境保全課 宮前区役所道路公園センター ② 宮前区役所道路公園センター ③ なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	平瀬川で油が流れていると通報があり、現地で確認したところ、油が浮遊している状況であったため、オイルフェンスを設置した。現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
3/9 ・ 3/9	3/9	多摩川	多摩川本川	川崎区 港町	○			① 川崎区役所道路公園センター ② 川崎区役所道路公園センター ③ なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	事業者から川崎河港水門で閉じられている旧運河にボラが浮いているとの連絡があった。月1の水質測定では異常なし。原因の特定には至らなかった。道路公園センターで回収し、浮島処理センターへ搬入した。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
3/15 ・ 3/15	3/15	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生		○		① 環境局環境保全課 宮前区役所道路公園センター 上下水道局下水道水質課 消防局宮前消防署 神奈川県宮前警察署 ② 宮前区役所道路公園センター ③ なし	判明 不明	平瀬川で油が流れていると通報があり、油膜が流れていることが確認できたため、宮前区道路公園センターがオイルフェンスを設置した。現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
合 計					2	14	29				

